市民のひろば

掲示板

◆読み聞かせボランティア募集

山田小学校では、子どもたちがたくさんの本と出合い、本に親しんでほしいと願って、毎日10分間読書タイムを設け、金曜日には読み聞かせを行っています。

そこで、子どもたちに本を読んでくださる地域の方を募集します。興味のある方、ご連絡ください。

【日時】 金曜日13時45分～13時55分

※月に1回など、都合の付く日だけでも構いません。

【場所】 山田小学校

【問い合わせ先】 山田小学校　岡崎

☎53・3185

（山田小学校）

～ほっと～

5月の風にのって
いっしょに　青空へ飛ぼうよ～

神祇ちゃん　その32

作：國則　京花（山田高校マンガ部）

まちの声

◆グリーンカーテン

平成19年8月、ラジオ放送から四万十高校で、教室の南側にネットを張ってニガウリと朝顔をはわせ、教室の気温を3～4℃下げたと聞いた。

すぐに家族でドライブを兼ねて四万十高校を訪問した。ちょうど夏休みで、意外に背が低く「夏休みで水やりが足りないか」とも想像した。退職の身であるので、さっそく仕事に掛かった。庭のコンクリート24㎡を剥（は）ぎ、レンガで縁側に沿って6ｍほどの長い花壇にし、残りは芝生としてネット張が完成したのは暮れになっていた。

翌年、これに沖縄朝顔を植えた。この朝顔の葉は、てのひら大に大きく緑も濃い。7月中旬には**グリーンカーテン**となった。我が家は、周囲は田畑で街よりは涼しいと思われる。それでも2～3℃は室内気温が下がったように感じられる。何よりも、毎朝のグリーンの癒し効果の恩恵が大きいと思われる。

経費は約3万円ほどかかったが、昨年の夏は、ほとんど冷房を使わなかったので、冷房機の償却費が加わる。今が作業開始の時期ですので、皆さんにお勧めします。

「市内で数％の家が取り組むと、二酸化炭素抑制と家計の余剰金額は大きいだろうなあ」と考えている。

（香北町美良布　千頭将彦）

香美史探訪記　第12回　物部町頓定の寺堂（物部町頓定）

物部町頓定の丘の上に鎮守の森があり、五社王子宮・大師堂・公文先祖宮が並んで鎮座している。全国の社寺が、明治初期の神仏分離令で寺堂が移転されたが、市内で同一境内に現存する集落が3つあり、そのひとつである。

五社王子宮の勧請建立は棟札によれば、永禄7年（1564）で、「頓定村社御諸王子大旦那久徳衛門賀地平行重」とある。大師堂は五社王子宮の別当寺で、阿弥陀如来を祭る寺が存在したようで、寺跡と伝えられる場所にクロガネモチの大木が繁り、経塚もあって、室町期の薄肉彫の石仏や五輪塔が根に挟まれている。

頓定の地名は、仏教用語の**頓証菩提**（とんじょうぼだい）から来ており、集落を開いた先祖の成仏を祈るという意味ではないかとも考えられる。

太師堂には3つの像が祭られている。江戸時代寛文7年（1667）に、名本**久文弥兵衛・平兵衛**の親子が、2代目仏像の阿弥陀如来・地蔵菩薩を奉納したのではないかと言われる。弘法大師像は赤岡浜に祭られていたが、当時、浜では不漁が続き、仏と魚は相性が悪いと困っているところに、頓定の人が通りかかり譲り受けたと言う。創建の棟札には、元禄7年（1694）茂右衛門を迎え、堂床を一人で建てたとある。現在の建物は、明治26年、後免町の大工酒井丈之助・同竜之助ほかによって建てられ、彫刻が見事である。境内には、大正2年頃に造られたミニ八十八ヶ所の石仏があり、霊場巡りが行われていたことを示している。

左奥から公文氏神社・大師堂・五社王子宮

長宗我部地検帳（1588）によると、「土ゐヤシキ二反に上池文丞が住んで支配していた」とある。江戸時代初期には、大栃付近を治めていた公文兵庫の長男源六が移住して名本となり、以降弥兵衛以下が土居屋敷に住んで、代々名本職を勤めたことが知られている。

頓定には、しだれ桜の大木があり、4月8日にはお釈迦様花まつりを行っている。以前には、大師堂に提灯を吊って巡らせ、にぎやかに楽しんだ時期もあったという。（香美史談会）

ただいま留学中㊱

孫　鳳（スン　フン）（中国瀋陽市　出身）

私は、高知工科大学の知能機械工学博士後期課程の3年生です。2007年10月に中国の瀋陽から来ました。知能制御工学研究室で磁気浮上について研究しています。

高知工科大学は英語でKUT（Kochi University of Technology）ですが、私の中国の出身大学、瀋陽工業大学はSUT（Shenyang University of Technology）です。私はSUTで学部、修士を終え、同大学の先生になりました。KUTの博士課程を修了後、母校の先生に戻ります。今日は瀋陽工業大学を紹介します。

瀋陽工業大学は工学を主としていますが、理学・経済学・管理学・文学・法学や哲学なども勉強できる総合大学です。キャンパスは瀋陽市中央部にありましたが、地域における大学の重要性が増したので『経済技術開発区』に新キャンパスが建てられました。

キャンパスには川・池・庭園を配し、青いさざ波と青々と茂った草木のある環境は勉強に適しています。

昨年9月19日には創立60周年が祝われ、KUTからも岡村理事長、瓜生副学長がお祝いに来てくださいました。SUTの李学長は「設計には岡村先生のアドバイスが参考になりました」と話していました。

香美市に住んで、2年半になりますが、香美市の皆さんは親切で優しいし、心が暖かく、いろいろお世話になっています。青い山々、清澄な物部川の水、青い空は心を清明にしてくれます。春に、香美市のあちこちで桜が一斉に咲く景色は素晴らしく、日本人の桜を愛する心が理解できました。

これからもよろしくお願いします。

写真＝瀋陽工業大学図書館前　隣は妻（同大学卒業生で教員）